

多様な言語文化背景をもつ子どもたちのリテラシー発達 —3つの調査報告から—

日時:2014年3月30日(日) 13:30-17:00/17:00-19:30

場所:早稲田大学 22号館2階 202教室

文化間を移動しながら、現地とは異なる言語文化背景をもって学校生活・社会生活を送る子どもたちにとって、リテラシーの発達は重要な問題です。複数の言語環境にある子どもたちのことばの力発達を調査している3つの科学研究費プロジェクトの報告を行います。そして、その結果をもとに、多様な言語文化背景をもつ子どもたちのリテラシーの発達について、パネルディスカッションを行います。

お申込みはこちらから ⇒ <http://kokucheese.com/event/index/152292/>

★参加費等はありません。当日参加も可能ですが、資料準備の都合上、事前申込みをお願いいたします。

プログラム

第I部

1 開会・趣旨説明

2 調査報告—多様な言語文化背景をもつ子どもの「ことばの力」の調査

(1) 齋藤ひろみ

「日本生育外国人児童の作文力の発達—出来事作文の多面的分析を通して」

H22-25年度科学研究費基盤研究(C) 23520615 「日本生育外国人児童のリテラシー発達に関する基礎研究—日本語作文の縦断調査—」(代表:齋藤)

(2) 真嶋潤子

「日本の公立小学校で学ぶCLD児の二言語リテラシーの発達—中国語母語話者児童の縦断研究より—」

H24-28年度科学研究費基盤研究(B) 24320094 「外国人児童生徒の複数言語能力の縦断的研究—何もなくさない日本語教育を目指して—」(代表:真嶋)

(3) 池上摩希子

「二言語課題作文の分析結果から見える日本語で「書く」カー独日国際児のバイリテラシー形成過程の研究より—」

H22-25年度科学研究費基盤研究(B) 22402049 「日系国際児の二言語形成過程の質的研究」(代表:柴山真琴;大妻女子大学)

3 パネルディスカッション

パネリスト

◆上記3名の報告者

◆川上郁雄(早稲田大学)

◆内田千春(共栄大学)

問い合わせ:齋藤ひろみ

shiromi@u-gakugei.ac.jp,

池上摩希子 ikegami@waseda.jp

第II部

> > > > > > 齋藤科研報告会 17:00-19:30 < < < < < <

日本生育外国人児童のリテラシーの発達—6年間の出来事作文の縦断調査より

外国人集住地域にある小学校の協力を得て収集した6年分の出来事作文を、いくつかの面から分析した結果を報告し、会場の皆さんとディスカッションをします。

(1) 「語彙」の発達—KHcoderによる解析を通して

森篤嗣(帝塚山大学)

(2) 「文法の正確さ」の発達—文法的な誤りの分析から

阿部志野歩・北澤尚(東京学芸大学)

(3) 「表記の正確さ」の発達—表記の誤りの分析から

菅原雅枝・田中瑞葉(東京学芸大学)

(4) 「文章構成力」の発達—作文内容の構成の分析から

内田紀子(茨城大学) 畠田陽子(国立国語研究所)

問い合わせ:東京学芸大学 齋藤ひろみ shiromi@u-gakugei.ac.jp